ゆうでんかい

大阪電気通信大学友電会

大阪電気通信大学同窓会組織



御神木 飛梅

「東風吹かば匂ひおこせよ梅の花 あるじなしとて春な忘れそ」 菅原道真 新設学部 建築学科・ゲーム&メディア学科 「初の卒業生を輩出」

優秀学生の表彰「友電会賞」を贈呈しました

金融経済学部 「資産運用学科」 〜惜しまれつつ閉学科 袖山教授に聴く〜



しらでんかれる

大阪電気通信大学・同窓会組織 友電会会誌

Contents

- 01 **柔軟でかつ正しい対応を期待「祝辞」** 一般社団法人友電会会長 廣瀬一夫
- 02 卒業生の活躍を励みに 卒業生が誇れる大学づくりを 第12代学長 塩田邦成
- 03 卒業生・新入生へのメッセージ 課外団体 常任自治委員会ほか
- 07 会員の動向
- 14 金融経済学部資産運用学科の足跡
- 17 2021年度退職者の最終講義
- 18 2021年度友電会2021年度の事業報告 意識改革の2021年 共同体からの脱却 部会の事業報告&計画案 母校の教職課程を学ぶ学生との教育懇談会 支部活動報告~びわこ支部総会~ 学科別卒業研究発表会~友電会賞を贈る~
- 26 全国支部組織と友電会事業~お願い~ 友電会の入会「おめでとうございます」
- 33 学園80周年記念事業へのご支援~お願い~
- 34 2022年度定時社員総会ご案内

表紙題字「ゆうでんかい」は 故 田崎秀夫 元学長著

ホームページ http://www.yudenkai.org/

会誌への投稿や事務局への連絡等はE-mailかFAXで 友電会事務局 FAX: 072-824-1197

E-mail:info@yudenkai.or.jp<mailto:info@yudenkai.or.jp>

2022年3月14日 第135号

発 行 所/一般社団法人大阪電気通信大学友電会(大阪電気通信大学同窓会組織)

YUDENKAI The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号 18-8Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530 (友電会直通) TEL:072-824-3111 FAX:072-824-1197 (大 学 代 表) TEL:072-824-1131 内線3266 郵便振替番号 00990-5-49361

発行責任者/ 一社法人友電会会長 廣瀬一夫

編 集/ 一社法人友電会総務・財務・広報部会、一社法人友電会事務局

資料提供/学校法人大阪電気通信大学、大阪電気通信大学広報部

大阪電気通信大学学務部ほか

寄 贈 先/ 大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会 並びに国立国会図書館遂次刊行物部、その他

印 刷/ ダイコロ株式会社 発 送/ セイコー印刷社



大学学章 _





電子工学・通信工学を中心とする大学の象徴として、原子内電子軌道を図案化したものをバックに、「大学」を白抜き文字で配置しています。 この純白は、清廉・潔白な人材の育成と、祈りと、希い(ねがい) がこめられています。



つなぐ知 かなえる技

学校法人 大阪電気通信大学

Osaka Electro-Communication University

学校法人大阪電気通信大学は、1941年の東亜電気通信 工学校創立以来、高校・大学での教育を通して有為な人材 を数多く輩出し、社会から高い評価を得てきました。

2016年度、初心に戻って本学園の基本となるビジョンを再確認するため、学園の果たすべき使命、それを実現するための心構え、到達すべき将来像を示した指針MV2(Mission,Value,Vision)を策定しました。

そして、2021年に学園創立80周年を迎えるにあたり、この指針の実現に向けて、学校法人大阪電気通信大学のアイデンティティをより明確にし、ブランド価値の向上を図るために学校法人大阪電気通信大学ヴィジュアル・アイデンティティ(VI)を制定しました。

母校のホームページ 大学紹介から引文しました

編集後記

学園創立80年、大学開学60周年の母校は、社会に貢献できる 人材育成を果たしてきた。

現在55,000名の卒業生を輩出している。

友電会誌112号 (2011年5月発刊) 表紙を飾った「教育·文化の殿堂」駅前キャンパス「金融経済学部」は、2021年度をもって10年の歴史に終止符を打つ。2018年度に開設された建築学科とゲーム&メディア学科は今春、初の卒業生を社会に送り出す。

継続・発展させるための活力は、「温故知新」-昔を正しく知り、新しい将来像を描く能力と柔軟な思考力と体力がほしいと思う。それに気づかせてもらった取材先の皆様に感謝します。

●表紙写真提供者

松崎真典氏 (F26期卒 福岡県福岡市在住)

●写真コメント

九州支部設立メンバーの一人として、支部活動に携わり今年で13年目。本年は、支部長・友電会理事として発展に関わる。

写真は、太宰府天満宮の御神木である「飛梅」です。2月19日には満開となり境内の梅は7分咲きとなっています。毎年「飛梅」は境内にあるどの梅よりも早く開花するそうです。

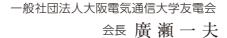
●現況報告

九州支部の会員は、現在300名超。会員の交流機会を増やして繋がりを深めて参りたいと思っており、人的ネットワークが拡がることで新たなものが生まれると考えております。

是非、この繋がりを活用していただければと思います。今回、新たな 支部長にバトンタッチをしますが、これまで通りバックアップして参り ます

若年層の方はもとより、中高年層の方々も、研修会や総会などの機会には、是非、ご参加いただければと願っております。

柔軟でかつ正しい対応を期待





卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。ご家族の方々も大変お喜びのこととお察しします。

心よりお祝い申し上げます。

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。充実した学生生活を送り、一層大きく 飛躍してください。

心から応援しております。

私は本大学の同窓会組織である「一般社団法人友電会」会長の廣瀬一夫と申します。 ご卒業、ご入学に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

コロナウイルス感染症による災禍は未だ沈静化せず、社会生活の全てに困難を与えております。

急速に進展していたデジタル化やグローバル化にあって、新たにコロナ禍というこれまでにない変化が加わって参りました。

このコロナ禍は人類にとって望まないものであり、人間社会に対して、これまでにない新たな対応を迫っており、我々は誠に困難な局面に立っております。一刻も早い沈静化を願っているところでありますが、我々はこの変化に怯まずに対処していかなければなりません。

視点という英知をもってこの変化にむしろ、これからも想定外の事案の突発を考えると、 人間の新しい視野、しなやかに対応することが望まれます。

そして、その先導役を果たすのが、柔軟な対応ができる皆様方なのです。

卒業生は新たな職場や同窓会組織などの交流の場において、また、入学生は本学において、英知を結集して変化の時代に柔軟に、かつ、正しい方向付けを導くリーダーとならんことを我々は大いに期待しております。

ご卒業、ご入学に当たり一言ご祝詞を申し上げ、皆様の大いなる活躍を祈念いたします。

卒業生の活躍を励みに卒業生が誇れる大学づくりを

2022年4月より、大石利光先生の後任として学長に就任することになりました。本学の到達点をさらに発展させるべく大学運営にあたってまいる所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

本学は2017年度から15年間の長期計画を策定し、期中を5年きざみの中期計画としています。2021年度までの第1期5か年計画では、「学生の確保に向けた魅力ある大学への改革」を目標として、大石前学長のリーダーシップの下、寝屋川キャンパスの新棟建設、新学科(建築学科、デジタルゲーム学科、ゲーム&メディア学科)の新設をはじめとする大学改革に取り組みました。新型コロナウイルス感染症対策という想定外の事態への対応もありました。取り組みの結果、本学への社会的期待は高まり、入学志願者数は3倍に、偏差値も上昇するなどの成果を生みました。

2022年度から新たな5年間の第2期中期計画が始まります。計画では、第1期の成果の上に、大学の質的向上をめざして「魅力ある学部学科を展開し、優秀な学生の確保、実学教育の強化によって多様な分野に卒業生を送り出す」ことを目標に掲げました。新たな具体的課題として研究力の強化、国際化の推進、社会人リカレント教育の実施、地域連携を掲げ、本学は質的に新しいフェイズに入っていくことになります。学生、社会に選ばれる大学としての評価をさらに高め、確実なものとしたいと考えています。

この間の取り組みで特にご紹介したいのは、ICT分野の強化についてです。第1期計画において、本学の教育研究上の特色はICT分野である、とあらためて全学で確認しました。全学横断の教育プログラムとして数理・データサイエンス・AI教育の実施、学生のPC必携化、ICT社会教育センターを通じた社会貢献活動、大学運営のペーパーレス化などに取り組みました。加えて2020年からの2年間はコロナ禍対策として全学的な遠隔授業の実施など、ICTを活用した教育研究、大学運営に踏み切ったわけですが、この経験で学んだことがたくさんあります。第2期計画ではそれらをさらに高め、大学の教育研究、運営のステージを転換する情報化の推進、つまりDX (Digital transformation)をも視野に入れたいところです。

加えて第2期計画では、社会的ニーズに応えるカリキュラム改革も推進しなければなりません。その過程で、学部学科再編が課題にあがるかも知れません。本学はこのように、絶えず社会のニーズに応じて新しい課題に挑戦していける大学であり続けたいと考えております。



2022年度 第12代学長に就任された しまたくになり 塩田邦成学長

卒業生の活躍は教職員の喜びであり、学生にとっては 励みです。私どもは「卒業生の活躍を励みに卒業生が誇 れる大学づくり」、このことを心に留めて取り組みます。

友電会のますますの発展とともに、友電会会員のみなさまのますますのご活躍をお祈りいたしますとともに、本学へのいっそうのご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

<プロフィール>

【氏名】

塩田邦成(しおたくになり)

【年齢】

66歳(1956年3月生)

【専門】

高等教育論、大学経営論

【研究テーマ】

- ・大学改革と大学のガバナンス
- ・大学事務職員のコア・コンピテンシー など

【学歴】

1974年3月 山口県立防府高等学校卒業

1978年3月 立命館大学文学部史学科卒業

2014年3月 東京大学大学院教育学研究科修士課程修了

修士(教育学)

2022年3月 東京大学大学院教育学研究科博士後期課程満期退学

【職歴】

1978年4月 学校法人立命館事務職員。日本私立大学連盟事務局

出向等を経て、立命館アジア太平洋大学事務局長、 立命館大学国際部事務部長、人事担当部長、株式会

社クレオテック取締役。

2016年5月 国立大学法人山口大学客員教授

2017年4月 大阪電気通信大学大学事務局長・理事

2021年4月 学校法人大阪電気通信大学理事

巣立ちのとき 確かな時間がそこにはあった

大学で過ごした時間、これからの一生を思えば「一瞬」。 それが、向後何にも変えることができない輝く宝物になる。

学部や年齢の壁を越えたつき合いが、どれほどに「あなた」を鍛え、たくましく育てたことか、 人を想う優しさを身にまとった誰からも奪われない人間味あふれる素敵な人として。 さらに大海原で活躍されることを願っています。

あとに続く新入学生の皆様には、是非、ダイナミックな自分づくりに挑戦してください。 友電会(同窓会組織)は、あなたを応援しています。

第62期 常任自治委員会

卒業生・新入生へのメッセージ

EN2OA043 中山侑哉

まず 卒業生の皆様 この度はご卒業おめでとうございます

課題に追われながらも 仲間と共に過ごした4年間は あっとの間だったのではないでしょうかまた 新型コロナウイルスの影響で 授業や課外活動 進路など様々な面で不安 悩みを抱えながらの大学生活だったと思います そんな状況でも 日々目標に向かって努力する姿は 後輩にとっても見本であり 頼もしい存在であったことに変わりありません

社会に出てからも この大学で身につけた知識 や経験を存分に発揮して ご活躍されることを期 待しています。

私たちも 先輩に恥じないよう 頑張りたいと 思いますので 温かい目で見守っていて下さい 次に 新入生の皆様 入学おめでとうございます コロナ禍での受験勉強お疲れ様でした

4月から始まる大学生活も コロナ禍で友達 はできるのか 授業についていけるのかといった 様々な不安があるかと思います

私も当時は 大学生活が始まる期待よりも 不 安の方が大きかったことを覚えています

ですが 先輩や大学の先生・職員の方など親切な人ばかりですし 新入生向けのイベントもたくさん用意されているので 課外活動も含めて 与えられた機会に どんどんチャレンジしてみてください

勉強との両立は大変だと思いますが コロナだ からと卑屈にならず コロナでしかできないこと を 自分なりに見つけて 悔いのない充実した大 学生活を送ってください!

母校の課外団体紹介 「ダイナミックな自分づくりの道場」

	団体名									
- d	常任自治委員会									
自治会	大学祭実行委員会									
会	四條畷キャンパスイベント運営委員会									
体	硬式野球部	文化会公認団体	吹奏楽団							
自会	軟式野球部		管弦楽団							
体育会公認団体	サッカー部		軽音楽部							
団体	フットサル部		映画研究会							
''	アメリカンフットボール部		放送研究会							
	バレーボール部		通信研究会							
	ハンドボール部		音響研究会							
	男子バスケットボール部		電子技術研究部							
	女子バスケットボール部		電子計算組織研究会							
	硬式庭球部		SF研究会							
	ソフトテニス部		デザインコミュニケーション部							
	卓球部		美術部							
	バドミントン部		Photo部							
	陸上競技部		ストリート部							
	スキー部		ボランティア同好会							
	サイクリング部									
	自動車部									
	弓道部									
	剣道部									
	少林寺拳法部									
	空手道部									
	柔道部									
	合気道部									

自由工房

プロジェクト	
ヒト型ロボットプロジェクト	マイクロマウスプロジェクト
知能ロボコンプロジェクト	マイコンカーラリープロジェクト
レスキューロボットコンテストプロジェクト	EVプロジェクト

登録サークル

学務部登録サークル(公認団体)※2021年度実績	OECUスマプラサークル	
ダイビングサークル	ソフトボールサークル	卓上ゲーム布教会
スポーツサークル	ACサークル	熱気球サークル
カードコミュニケーションサークル	アウトドアサークル	サバゲ―サークル
サバゲー、シューティング部	VOCALOID同好会	鉄道研サークル
OECUまちづくりサークル	釣道会	東方電通録
OECUアルティメットサークル	Game Enjoy Circle	Happy Direction

先輩 ご卒業おめでとうございます!!

スーツに身を包んだ先輩の姿が凛々しく瞳に浮かびます

映画作成に携わる先輩は とても美しくかっこよかったです そんな先輩に また お会いしたいので いつでも部室に来てください

いつかまた 一緒に映画を作りましょう お体にお気をつけて お仕事 頑張ってください

後輩一同 22.3.14





映画研究会

新入生の皆さん 入学おめでとうございます!!

学生生活は短く大変なことばかりです。そんな学生生活の中で 「楽しみを見つけてほしい!」「楽しさを感じてほしい!」と考えています。 映画研究会で共に自主制作映画を作り最高に楽しい学生生活にしましょう! あなたの見学をお待ちしています。

連絡先 en20a071@oecu.jp 部長 森岡まで



先輩方、ご卒業おめでとうございます!

大学生活が終わり 春からもう社会人ですね

コロナ禍があったので あっという間だったと思います

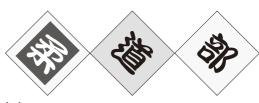
これからは いつ どんなことが起こるかわからない時代で 不安もあると思いますが

自分の信じた道を買いていってください! 応援しています!

また 自分たち後輩に稽古をつけてください(笑)

いつでも大学に遊びに来てくださいね!

お疲れ様でした お世話になりました。 柔道部 後輩一同





新入生の皆さん ご入学おめでとうございます! 柔道部です

柔道部は初心者・経験者問わず募集中です 部員の中には初心者からの人もいます 格闘技に興味がある 体を鍛えたい 黒帯を締めてみたい等 どんな理由でも大歓迎です!

気になった方は是非 見学に来てください 今しかできない思い出を一緒に作りましょう!

連絡先:fs21a037@oecu.jp 主将 高杉昭希まで

先輩方、ご卒業おめでとうございます!

先輩方、今の部活を率い、続けていただきありがとうございます。

ご卒業後もお体に気を付けてお過ごしください。

先輩方のご活躍を願っております。

後輩一同 22.3.14

Photo部



新入生の皆さん! ご入学おめでとうございます! 新入生のみなさん、大学生活で 自分の好きなものを撮りたいと思いませんか? そんな人たちはぜひPhoto部へ!! 私たちと一緒にこの目に映るものを 写真にしましょう!

連絡先:ee21a050@oecu.jp 部長 竹村 翼 まで



大阪電気通信大学 電子技術研究部

卒業生の方へ

ご卒業おめでとうございます。

コロナ禍での活動制限等で、部としてあまり活動できませんでした。 しかし、それでも普段の部活動で様々なモノを製作した日々は とても楽しいもので、あっという間でした。

これからもOBとして、電子技術研究部の活動を見守って頂ければと思います。

新入学生の方へ

ご入学おめでとうございます。

さて、普段の生活の中で「こんなものがあったらいいな」と思ったことはありませんか?

そんな時に、「作ってみよう!」と考えたことはありますか? この電子技術研究部では、作る為の様々な部品と道具があり、 何時でもそのアイデアを実現できます。

体験入部や見学もやっておりますので、是非お越しください。

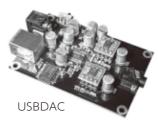
連絡先

Twitter @ERC_OECU

e-mail oecu.erc@gmail.com

次期部長 大辻 壮真 gf20a012@oecu.jp





レーザーポインター



2022年2月28日現在 5万4,772人



期/学科	Е	G	Н	I	J	N	Z	U	Р	F	K	RV	Α	L	Υ	S	Q	W	Т	MD	計	物故
1 (S.40)	93	_	-	-	-	_	_	_	-	31		_	_	-	-	_	_	_	_	-	124	9
2 (S.41)	193	-	-	-	-	-	-	-	-	88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	281	19
3 (S.42)	221	-	-	-	-	-	-	_	-	125	-	_	_	-	-	-	-	-	-	-	346	21
4 (S.43)	125	- 40	- 40	F 2	-		_	_		138	-		_	-	_	_	_	_	_	-	263	10
5 (S.44) 6 (S.45)	84 138	49 92	138	53 71	_	_		_		115 161					_	_	_	_	_	-	350 600	12 28
6 (S.45) 7 (S.46)	190	85	136	89	_	_				180	_			_	_						680	13
8 (S.47)	175	101	211	108	_		_	_		183	_			_	_	_	_	_	_	_	778	18
9 (5.48)	216	190	210	196	_	_	_	_	_	219	_	_	_	-	-	_	_	_	_	-	1,031	18
10 (S.49)	161	188	181	151	-	_	_	_	_	194	-	_	_	-	-	_	_	_	_	-	875	19
11 (S.50)	178	178	165	194	-	_	-	-	-	196	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	911	17
12 (S.51)	172	141	167	180	-	_	-	-	-	189	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	849	23
13 (S.52)	200	187	209	164	-	_	_	_	_	210	-	_	_	-	-	_	_	-	_	-	970	21
14 (S.53)	162	161	163	162	-	-	-	_	-	148	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	796	18
15 (S.54)	160	159	186	201	121	_		_	_	170	123		_	-	-	_	_	_	_	-	1,120	12
16 (S.55)	144	132	141	164	140		_	_		141	143			-	-	_	_	_	_	-	1,005	16
17 (S.56)	123	133	144	161	128			_		118	141			_	-	_	_	_	_	-	948	23
18 (S.57) 19 (S.58)	132 124	128 130	139	130 121	127 110	_	_			159 150	140 134			_	_	_				_	955 882	13 11
20 (S.59)	110	97	120	118	139	H =				123	115				_	_				_	822	8
20 (3.39) 21 (S.60)	120	151	130	123	118	-	_	_	_	131	132	_	_	_	_	_	_	_	_	_	905	11
22 (S.61)	142	134	131	147	130	_	_	_	-	129	122	_	_	-	_	_	_	_	_	_	935	11
23 (S.62)	124	133	149	127	130	_	-	_	_	162	141	-	-	-	-	_	_	_	_	-	966	9
24 (S.63)	96	142	121	116	146	_	-	_	_	136	133	-	-	-	-	-	_	_	-	-	890	4
25 (H.元)	136	113	126	150	135	-	_	-	-	124	130	-	_	-	-	_	-	-	_	-	914	7
26 (H. 2)	124	107	124	108	113	-	-	-	-	110	110	-	_	-	-	-	-	-	_	-	796	6
27 (H. 3)	102	140	116	138	130	_	_	_	_	128	116	_	-	-	-	_	_	_	_	-	870	5
28 (H. 4)	99	139	150	144	144	_	_	_	_	152	143		-	-	-	_	_	_	_	5	976	4
29 (H. 5)	136	133	109	131	126	_	_	_	_	128	138			-	-	_	_	_	_	30	931	5
30 (H. 6) 31 (H. 7)	125 145	134 160	117 139	143 149	146 131	_	_			133 148	132 151			-	_	_	_			42 63	972 1,086	1 2
32 (H. 8)	162	148	157	156	154					139	139			_						69	1,124	0
33 (H. 9)	137	136	148	157	153	_	_	_	_	161	150		_	_	_	_	_	_	_	76	1,118	6
34 (H.10)	106	149	122	151	132	_	_	_	-	126	137	_	_	-	_	_	_	_	_	67	990	4
35 (H.11)	129	120	120	9	132	_	-	_	192	127	132	_	-	-	-	_	_	_	_	60	1,021	1
36 (H.12)	125	125	117	-	140	-	-	_	176	132	119	-	-	-	-	-	-	_	_	50	984	0
37 (H.13)	94	140	121	-	123	-	-	_	215	138	136	-	-	-	-	-	_	_	_	80	1,047	0
38 (H.14)	137	119	116	-	131	-	_	_	228	122	131	68	-	-	-	_	_	-	-	95	1,147	1
39 (H.15)	99	121	99		132	-	_	_	199	138	110	113	_	-	-	_	_	-	_	95	1,106	1
40 (H.16)	95	105	109	_	116	-	-	-	209	111	117	101	-	-	-	-	189	_	-	95	1,247	0
41 (H.17)	117	80	120	_	91	_		_	183	116	74	112	_	95	-	_	172	_	_	97	1,229	3
42 (H.18) 43 (H.19)	119 100	81 82	115 104	_	99 103	_	_	_	201 188	114 119	81 75	113 96		100 95	_	_	178 160	123		109 119	1,310 1,364	0
43 (H.19) 44 (H.20)	100	75	86		103	H =			168	93	81	119		100	_	_	136	106		100	1,280	0
45 (H.21)	97	75	101	_	97	_	_	_	167	99	86	75	_	149	_	_	143	133	80	103	1,405	0
46 (H.22)	80	74	100	_	90	_	65	_	169	69	57	2	_	120	33	_	124	127	60	101	1,271	1
47 (H.23)	82	44	87	-	89	20	42	_	146	66	29	1	_	118	45	_	91	130	80	132	1,202	1
48 (H.24)	69	46	92	-	97	27	39	_	119	58	7	_	_	88	23	64	94	124	64	138	1,149	0
49 (H.25)	69	45	68	-	76	30	50	_	121	73	1	_	23	87	30	68	110	122	65	100	1,138	0
50 (H.26)	75	64	57	-	83	43	63	_	136	72	_	_	30	62	28	64	90	116	83	108	1,174	0
51 (H.27)	83	2	68	-	66	52	10	70	104	78	_		53	74	26	60	92	98	82	74	1,092	0
52 (H.28)	65	1	71	-	68	54	3	76	112	54	-		39	71	22	60	84	100	79	67	1,026	0
53 (H.29)	73	2	60	_	75	60	1	88	109	63	-		50	81	33	68	79	113	84	69	1,108	0
54 (H.30)	86		82	-	83	52		99	119	74	-		72	78	42	54	93	119	81	59 4E	1,193	0
55 (R.元) 56 (R.2)	72 67		88 75	_	82 78	60 59	-	105 78	134 121	68 75	_		62 54	72 70	32 43	55 60	9	184 187	72 89	45 74	1,140 1,132	0
50 (R. 2) 57 (R. 3)	73		70	_	79	38	_	62	110	64	_		21	80	27	67	_	175	80	65	1,011	0
合計	6,968	5,471	6,437	4,212	_	495	272	516		7,068		772	404	1,540	384	620	1,846	1,957	999		54,772	412

● 工学部

- E 電子工学科、電気電子工学科
- G 電子物性工学科、電子材料工学科、 応用化学科
- H 電子機械工学科
- I 経営工学科
- J 精密工学科、知能機械工学科、 機械工学科
- N 基礎理工学科
- Z 環境技術学科
- U 環境科学科

● 情報通信工学部

- P 情報工学科
- F 通信工学科
- K 応用電子工学科、光システム工学科、 光・エレクトロニクス学科

● 工学部 2 部

- R 電子工学科
- ∨ 機械工学科

● 金融経済学部

A 資産運用学科

L 医療福祉工学科

● 医療福祉工学部

- Y 理学療法学科
- S 健康スポーツ科学科

● 総合情報学部

- Q メディア情報文化学科、 デジタルアート・アニメーション学科
- W デジタルゲーム学科
- T メディアコンピュータシステム学科

● 大学院

- M 前期課程
- D 後期課程

※総合計は、学部卒業生で大学院修了生は重複します。

「もう4年、まだ4年」―建築学科第一期生卒業にあたって― ※※※※※※

今回、寄稿にあたって「4年を振り返る」というテーマを いただきました。

しかしこの初春閉幕したばかりの合同卒業制作展の熱気冷めやらぬ中、この記事を起草したことをまずはお許しください。

2018年4月、拝命を受け、教員として大学・企業からの8名がこの建築学科を開設するべく参集し、はや四年が過ぎました。期待に沿えるべく試行錯誤、様々な取り組みを進めてきた所ですが、ここに至って一つの山を越えたと思うことしきりです。開設にあたっては歴史ある本学の「実学で『人間力』と『技術力』を養う」というMissionにつながるものとして、一級・二級建築士(受験資格)獲得を基本とする学修にプロジェクトベースのアクティブラーニングを加えての流れづくりというのがスタートの理念でした。



2018.05 明治村研修



2019.12 京町家研修 (プレゼミ授業)



2022.02 卒業展設営 (企画展示は学生主導)

学科プロジェクト方針としての「認識の[知]・構えの [心]・巧みな[技]の統合」は、これまた本学の3ポリシーに謳われた「頭と心と手」とも符号し、さっそく2018年の開設当初から、学外研修 (明治村) を皮切りに実践開始しました。さらには自主、主体の活動を大いに奨励した甲斐あって、サークル活動 (まちづくり) とそれを軸とするポプラプロジェクト (以下、PRJ) が始動、展開するに至りました。



2019.03 刊行ポプラPRJ報告より

具体的な実践としてのポプラPRJはその流れにあって「人と環境に配慮した建築・まちづくり」のリーディングPRJとして位置づけられた経緯があります。

それ故、工学部の裁量経費支援等を受けたものですが、同様の企画としてはそのほかに、「内外作品展【成長はプロジェクトと共に】」(産経新聞「ビジネスアイ」'20.03.26等紹介)を既に1年目から開催致しました。そこでも伐採ポプラ利活用に見る本学資源継承に関わってのテーマ設定によって、継続的、本質的な学習効果を期待することとなりました。これら学生諸君参加型のプロジェクトの流れが今回の合同卒業制作展へとつながるところとなったと言えます。



2019.03 学外作品展 (三条京町家)



2020.01 ポプラ椅子贈呈(幼大連携)

特に作品展設計実習に関わるテーマ設定においては、寝 屋川水系のラグーンとしての本学立地に着目し、源流域から 北河内拠点をテーマに身近から連続して展開するベクトル を埋め込むことができました。



2019.06 打上川現地調査 (2年課題「水辺の集住」)



なにわ建築フェスタ2019【建築作品展編】 (広瀬寝屋川市長をお迎えして)



なにわ建築フェスタ2019【まち歩き編】 (大阪建築士事務所協会メンバー、地域の方と)

そして、まさに今回の卒業展はそれらの集大成の一面を 有しています。会場計画 (学生案) もスパイラルにして過去 のそれら流れを彷彿とさせる一面がありました。

各ゼミの成果は他分野に及んで、建築系ならではとなり 写真に示すように壮観な雰囲気をかもしました。

特に設計については対外試合も学修機会となり会場では自主活動成果と共に各学生諸君の成果が展示されました。

写真に示すように会場全体で各ゼミがそれぞれに特徴的 なスタイルで成果を取りまとめています。

さらには生産、構造、情報、そして計画、歴史、設計など 建築各分野を網羅する1冊の集大成本としてのカタログが 同時に刊行されました。



合同卒業展【配布カタログとポスター】



合同卒業展【論文研究コーナー】



同展【設計研究作品ブース】



合同卒業展【設計研究作品コーナー】



合同卒業展【一年生作品コーナー】

2022年度、建築学科では新たに開設の大学院への進路も開かれ、4年の節目を越えて新たなステージを迎えます。これまでの大阪電気通信大学そして工学部等多方面の支援に基づき4年間を完成年度として締めくくることができそうです。振り返ると感謝の念しかありません。

就職についても初卒業生としての心配を振り払う大きな 実績となって、今新たな社会への1歩を踏み出そうと皆が 輝いています。

現在、この合同卒業制作展も支援して頂いた友電会から も同窓会立ち上げのお誘いが届き、現在大学へ進学する卒 業第1期生の面々が準備を進めている最中です。

もう4年、まだ4年、それが今の偽らざる思いです。我々 学科教員一同にしても都度都度にある節目、それ故に今ま での歩みが振り返れるわけですが次の大きな目標は2年後 の大学院を含めた合同卒業修了の年となるでしょう。 先日も関東の国立C大学から建築士資格の科目履修の申請希望がありました。新しくできる大学院では実務2年認定の設計系コースを持つことにもなり、その実力が評価されての事でもあります。

荘厳な会場空間に負けない学科4年の集大成となった合同展示会ですが、各卒業研究展示の中央ゾーンに下級生課題や自主活動成果展示がスパイラル状につながって大きな多様性のうねりを表しました。その軌跡を示す会場ルートは寝屋川源流の大学拠点からその流れに沿って勇躍し、大阪中心地にたどり着くことと重なるが如くです。

もう4年、まだ4年、会場ステンドグラスの『なにわ港の 澪つくし』が彼らの多いなる船出を象徴してくれているよう でした。



合同卒業展【大阪中央公会堂ステンドグラス】

今後、友電会様には第一期生による同窓会立ち上げにも お世話になることと思いますが、新たなステップへ向かう 今後がますます楽しみとなります。

我々送り出す側こそ社会へ船出した卒業生諸氏をネット する同窓会を大いに盛り上げていかねばと思いを新たにす るところです。

今後ともどうぞよろしくお願いします。



合同卒業展受付にて【初日担当した元ポプラPRJチームの卒業生】





京都市生まれ。

国立京都工芸繊維大学建築工芸学科卒。同専攻院修了と同時に一級建築士取得、教員としての研究教育経歴をスタート。京都工芸繊維大学では都市環境計画・設計、建築計画講座にて教鞭をとり、その間、英独墺にて文部省在外研究留学。

専門は、建築・都市計画、まちづくり計画・設計、都市環境デザイン等、建築から都市に至る参加協働の計画・設計(きょうと景観賞 '92、日本建築士会地域活動奨励賞 '99、大学のまち京都・学生のまち京都推進特別表彰'11他受賞)。

2017年大阪電気通信大学に建築学科開設準備特任教授として着任。2018年以降、本学建築学科教授。現在に至る。

特に、阪神淡路大震災後は地域連携貢献、小大連携研究まで テーマは広がり、本学赴任後に四條畷市空き家対策協議会会 長、寝屋川市小中一貫校施設整備事業者選定委員など歴任。

ゲームを拡げる力、メディアで拡げる力

~映像やアニメーション、イベント等のメディアを駆使してゲームの可能性を拡張する~

総合情報学部 ゲーム&メディア学科

ゲーム&メディア学科は2018年4月に開設されました(入学定員110名、四條畷キャンパス)。学科の使命は「ゲームを伝え拡げるためのエンターテインメントコンテンツを企画・制作・教育する仕事に携わることができる創造性豊かな人材の育成」です。

メディアミックス化が進む今、ゲームをはじめとしたデジタルコンテンツは、それぞれが密接な関係にありながら多種多様に拡がっています。学科で学ぶ範囲の一例だけでも、2D3Dアニメーション・映像・Live・サウンドデザイン・プログラミング、メタヴァース、メディアアート・教育・eスポーツ・メディアリテラシー・データサイエンス・メディアプロデュース、イラストレーション、Webデザインなどがあり、学科の授業ではこれらの専門知識と高度なスキル、そして、意識を学びます。

学科のカリキュラムの特徴は、専門分野を6つに分けたユニット制 (Career、Game、Live、Art&Design、Animation、Culture) と1年生からのプロジェクト学習 (プロジェクト入門・実習、プロジェクト実習1、プロジェクト実習2、社会プロジェクト実習)と卒業研究・卒業制作 (展示会「なわてん」:後述)にあります。

特にプロジェクト学習では、その成果を毎年外部イベントに出展することで、専門性に加えてチームワークとコミュニケーション力、そして創造性を培っています。

開設1年目の2018年9月には、マンガ・アニメを中心としたコンテンツの総合見本市「京都国際マンガ・アニメフェア2018」(主催:京都国際マンガ、アニメフェア実行委員会、京都市)にデジタルゲーム学科とともに出展しました。

2019年6月には、「国内のおもしろいインディーゲームを海外に向けて発信していく」という国内最大級のインディーゲームの祭典「BitSummit 7 Spirits」(主催:BitSummit実行委員会、京都府、共催:KYOTO CMEX)にデジタルゲーム学科とともに出展しました。

また、5月11日と12日に開催された学生向けの 「BitSummit School Game Jam」で、立命館大学など 6校とともに学生と教員が参加・展示をしました。

そして、同年9月には幕張メッセで開催された「東京ゲー



京都国際マンガ・アニメフェア2018



2019 BitSummit 7 Spirits



東京ゲームショウ2019



大阪電気通信大学esports project

ムショウ2019」(主催:一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会、共催:日経BP)にデジタルゲーム学科とともに関西の大学として唯一出展しました。

さらに、大学として日本初の専用常設スタジオを開設したesports project (担当:本学科教員いしぜきひでゆき)には、本学科の学生だけでなく、デジタルゲーム学科や工学部の学生らも参加し、プレイヤー、オーディエンス、クリエイターだけでなく、esportsイベントの企画・運営という役割分担を行って、日々活動を盛り上げています。

このように着実な教育成果を上げてこられたのは、何と言っても入学してくる学生の「今までゲームで遊んできたが、これからはゲームやデジタルコンテンツで人を楽しませたい。生活を豊かにしたい」という動機が最大のポイントだと言えます。そして、その素直な気持ちを受け止め、深く幅広い知識と技術に基づいた綿密な計画によって粘り強く指導を実践している現場経験豊かな教員がいることです。加えて、大学の理解と支援を賜った、デジタルゲーム学科との学科枠にとらわれない連携した授業が行え、教員らの幅広い人脈による外部専門家からの協力も得られているからだと言えます。この体制のもと、本学科は5年目を迎え、今後ますますの発展を期待していただけるものと考えます。

2022年2月には、初めての4年生が4年間の集大成として卒業研究・卒業制作の成果を「なわてん2021」で発表しました。コロナ禍のオンラインでしたが、2月5日から3月31日まで開催できました。2月13日の授賞式のイベント(なわてんグランプリ)は、司会が本学公式VTuberの初日乃ういと公認VTuber月城紗夜が務めました(VTuber指導:本学科教員ナガタタケシ)。当日は、大石利光理事長・学長からのビデオメッセージもいただき、充実した内容となりました。作品総数193点の中から選ばれたグランプリ受賞作品は23作品です。

2022年3月19日にはこの一期生を社会に送り出すことができました。彼ら/彼女らには、社会の荒波が待ち構えていることは必至ですが、「デジタルコンテンツで人を楽しませたい。生活を豊かにしたい」という初心を忘れずに成長した彼ら/彼女らですから、きっと乗り越えてくれることでしょう。そして、この精神は2期生、3期生と受け継がれていることは確かだと言えます。

最後に、本学科の成長を報告する機会を与えてくださった友電会の皆様に感謝いたします。



OECU公式VTuber!!



2021年度なわてん

横山 宏

(工学部 I 16期生)



<プロフィール>

【生年月日】1956年5月15日(満65歳)

【専門】教育工学(含む、教職)

【研究テーマ】大学での一般情報教育、問題解決、 やる気の研究

【略歴】

1980年3月 大阪電気通信大学工学部経営工学科卒業

1982年3月 大阪府立大学大学院工学研究科修士課程経 営工学専攻修了(工学修士)

1982年4月 富士通株式会社入社

1987年2月 和歌山コンピュータビジネス専門学校入社

1992年4月 大阪電気通信大学短期大学部電子情報学科 講師

2003年4月 大阪電気通信大学総合情報学部デジタルゲー ム学科講師

2008年3月 摂南大学大学院経営情報学研究科博士後期課程経営情報学専攻修了博士(経営情報学)

2008年10月 大阪電気通信大学総合情報学部デジタルゲー ム学科准教授

2018年4月 大阪電気通信大学総合情報学部ゲーム&メディア学科准教授

2021年4月 同学科教授、学科主任、現在に至る

12年の歴史に幕

金融経済学部資産運用学科

袖山則宏学部長に聴く

2009年4月、新設学部「金融経済学部アセット・マネジメント学科」を開設した。

友電会誌を紐解くと第112号 (2011年5月発刊) に福田 國彌氏 (元理事長) がこのように語っている。

「本学が様々な分野であげている成果を社会に公示する ことを計画しています。 一中略一 新学舎を本学を中核と する大学コンソシアムにしたいと考えています」

あれから10年が経ち、2021年10月、駅前学舎は役目を終え、建屋は寝屋川市に売却された。

今回、2月18日(金)、金融経済学部学部長袖山則宏教授にインタビューの機会をいただき、学部閉幕への想いを語っていただいた。

□新棟OECUイノベーションスクエアの研究室を訪問

論文執筆に励まれておられた先生に、5年間の教授生活を振り返って、いまの心境をお尋ねした。

金融業界からの転身、専門領域は数学科。「大学卒業後は、社会が「金融」に注目していた頃、金融業界に進んだが、一度は教師を目



指したことと金融と工学のコラボレーションー金融工学をテーマに研究職として本校に赴任した。本学で教えることができ、有意義な時期を過ごさせていただいた。学生との接点は、ゼミでの講義。「今でもラインで連絡することはあるが、コロナ禍の影響もあり、卒業後、教え子との付き合いは少ない」と淡々とした思いを語ってくださった。教授に着任した5年前、すでに学生たちは今日が来ることを分かっていた。

ただ、本科はほぼマンツーマン教育を一貫しており、入学から就職まで親身にかかわることができたことは今後の生き方につながると考えている。



寝屋川市駅前再開発の中核として建設された学舎

□卒業生へ伝えたい想い

「金融」とは、先をどれだけ見られるかがテーマである。 日本社会は、金融リテラシー (知識) が低い。2000年頃から、自身が行う資産形成の重要性が叫ばれ始めたが、これからはより重要なテーマになることは間違いない。

学問ではなく、日本人一人ひとりが将来の人生設計に対して、正しい判断力を身につけていく必要があると考えている。

□人生100年時代に求められる金融教育

将来の人生設計を立てる中で、資産形成をどうしていくかを考えるためには、資産リテラシーはますます重要になってくる。金融業界の伸びしろは、まだまだ大きいと考える。本学の卒業生には、金融業界とITの融合を追求し、そのけん引役として社会で活躍してくれることを期待したい。

文科省

2022年度、高校家庭科で始まる金融教育「老後の資産形成問題と成人年齢の引き下げ」

生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と 経済との関わりについて理解するとともに、収入 と支出のバランスの重要性やリスク管理の必要性 を踏まえた上で、将来にわたる不測の事態に備え た経済計画についても考察できるようにすること をねらいとしている。 新学習指導要領

資産運用学科の5つの専門コースと3つの特色

建学の精神

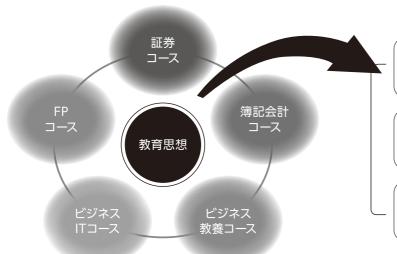
アセット・マネジメント学科 (後の資産運用学科へ繋がる)

"実践のための学問を!!"これが特色。経済学・経営学・法学などの"実用的な領域"をピックアップ。国際的な視野と社会的責任を基本に「資産運用・管理」に関するさまざまな専門知識・資格取得・最新の実用スキルやコンピュータ技能を身につける。

金融業界はもちろん一般企業、地方自治体などで活躍するのに必要な「資格と実用スキル」を持った人材育成を目指した。



電通大の強みを生かした金融教育の教室



自分を見つけ、磨くための「基礎学力強化」と 少人数教育を活かした「基礎ゼミ」

人との接し方を訓練し、たくさんの仲間をつくる 「ソーシャルスキル演習」

高い就職率の源は実務経験豊富な教員による 「実学教育」「キャリア教育」「多様性教育」

友電会との連携を 振り返る

母校学生の就職支援を目指して活動する「友電会企業家同友会」(当時の代表世話人 大平富義氏)は、平成25年3月8日、経営者を集めた第4回企業家同友会意見交換会を駅前キャンパスで開催、金融経済学部の寺田 貢教授と宮路勇次教授をゲストに招き、寺田 貢教授による「アベノミクスとマーケットー考」と題した講演が行われた。その中で、安倍政権の経済政策について解説され、個人的な考え方だがと、断ったうえで「今後のマーケットをどう見るか」について、アベノミクスの成功確率は60~70%、デフレからの脱却の「気」は適している。日本経済を大きく変える契機になると講演いただいた。また、宮路勇次教授は、「サイエンスと金融をベースとした社会科学を実現したい」と語られた。

参加者からは、「卒業生を迎えたい」と求人に対する積極的な意見が出されていた。

(友電会誌 第118号からの抜粋)



講演される寺田氏

講演後の懇親会

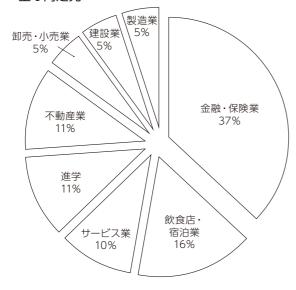


国際的な経済社会で活躍できる 資産運用のプロフェッショナルへ

金融のグローバル企業と連携し、これまでの経済学では 学べなかった"実践型"思考、ソーシャルスキルを養いながら、 世界経済で活躍できるプロフェッショナルを育成します。

(大学広報誌から引用)

<主な内定先>



<進路先>

りそな銀行 近畿大阪銀行 日本アジア証券 大阪厚生信用金庫 大福信用金庫 西島製作所 バイオン キュービタス 日本ホールディングスほか

取得できる資格主体的な学びを支援する教授陣

証券アナリスト

(アセット・マネジメント学科在学生)

証券アナリスト1次を取得したのは、金融機関で働きたいと思ったからです。その取得戦略は周辺取得から攻め込むことです。そこで1次試験までにFP2級、簿記2級等を取得しました。アナリスト1次合格までには約1年かかりましたが、大学の授業で先生のご指導を受け全科目合格することができました。取得後、証券アナリスト研究会を立ち上げ、自分の勉強方法を後輩に伝えるため奔走している最近です。

FP2級

(アセット・マネジメント学科在学生)

大学のカリキュラムは、1年生から会計・証券分野・法律まで広く知識を吸収できる授業構成になっています。その中で私は相続・資産承継やそこに付随する不動産に興味を持ったので、FP2級等を取得しました。

今後はさらに上級のCFP取得をめざすとともに、学内にもCFP研究会を立ち上げ、後輩の育成に寄与したいと思っています。またTOEIC集中講座を活用し、今後は在学中にスコア800点を目標にしています。

(大学広報誌からの引用)

金融経済学部の足跡と 友電会との関わり

2009年 4月 金融経済学部アセット・マネジメント学科が開設2011年 大学開学50周年記念の年

京阪電鉄寝屋川市駅東側再開発地区に「教育・ 文化の殿堂 駅前キャンパス」完成

2011年 6月 平成23年度友電会通常総会を開催

テーマ「今の時代、なぜ金融教育が必要か!」

寺田 貢教授による記念講演会開催

2014年 3月 卒業生23名

友電会49期生を輩出する

2014年 4月 学科名を資産運用学科に

改称する

2015年 3月 友電会企業家同友会が寺田 貢教授と宮路勇次 教授を招いた講演会を開催

テーマ「アベノミクスとマーケット一考」

2015年 6月 平成25年度友電会通常総会を開催

テーマ「負けない投資について」 中井正彦教授による記念講演会

2018年 4月 資産運用学科新規入学生の募集を停止

2021年10月 駅前キャンパス寝屋川市へ売却される

同学部は、寝屋川キャンパスへ移動

2022年 3月 金融経済学部は今年の卒業生を最後に廃止

(予定)

12か年の歴史を刻んだ学部は約400名の卒業生を社会に輩出した。

資産運用のプロフェッショナルとして同窓生の皆様のご活躍 を期待します

是非、友電会へ帰ってきてくださることをお待ちしています。



教育・文化の殿堂として建設された駅前キャンパス

環境科学科·高岡大造先生 オンラインで最終講義

2月15日(火)、環境科学科の高岡大造教授の特別講義がオンラインで行われました。

母校では、定年退職を記念する「最終講義」と称する講義が開催されています。

この日も恩師の講演を聴講するため100人以上の学生や 教職員、卒業生がオンライン上に集まりました。



講義では、学生時代の研究や、三洋電機や研究機関での 太陽エネルギーなどの研究内容について紹介。

また、本学に着任されてからの12年間にわたる研究を振り返り、

「じっとするのではなく動く。動かないと何事も始まらない。知識は貯めるものではなく使って欲しい」

と学生たちに最後のメッセージを送りました。

講義終了後には、研究室の学生らから花束贈呈が行われ、多くの視聴者が先生の姿を見守りました。



研究室の学生との記念撮影

資産運用学科 最終講義は公開講座 袖山則宏先生・荒木千秋先生



2009 (平成21) 年度に開設された金融経済学部資産運用学科は、今年度をもって廃止となる。

この間約400名の卒業生を社会に送り出した。袖山則宏 先生、荒木千秋先生に卒業生を代表してお礼申し上げます。 ありがとうございました。



例年開催される大学主催の退職者記念パーティはコロナ 感染拡大を考慮して開催できません。

また日を改めて先生方を囲む会を是非、計画されては如何でしょうか。

友電会は、皆様の卒期同窓会を応援させていただきます。 支電会事務局へお尋ねください。

尾花由紀 様
高岡大造 様
ヒルド ミヒャエル 様
吉田正樹 様
袖山則宏 様
荒木千秋 様
木村和広 様
關 義親 様
今井 清 様
岡田全統 様
吉野浩子 様
寺本郁美 様

2021年度退職者·退職予定者 12名

意識改革の2021年 共同体思考からの脱却

2021年1月、一般社団法人は、新執行部の舵取りで友電会丸は船出をしました。 あれから1年が経過し、会員54,000余名を乗せた友電会丸がたどった軌跡を皆様に報告し、 今後、どのような航路を描けばよいか積極的なご意見が頂戴できれば幸いと考え報告致します。

会議開催報告

- <2021年4月5日(月)>
 - 三役会(リモート会議)
- <2021年4月12日(月)>
- 三役会(リモート会議)
- <2021年4月17日(土)>
- 第1回 理事会(リモート会議)
- ・2020年度決算報告の件
- ・2021年度収支予算の件
- ・支部設置規程および助成規定の件
- <2021年4月19日(月)>
 - 三役会(リモート会議)
- <2021年4月26日(月)>
 - 三役会(リモート会議)
- <2021年5月3日(月)>
 - 三役会(リモート会議)
- <2021年5月10日(月)>
 - 三役会(リモート会議)
- <2021年5月17日(月)>
 - 三役会(リモート会議)
- <2021年5月22日(土)>
 - 第2回理事会(リモート会議)
 - ・2020年度決算報告の件
 - ・2021年度収支予算の件
 - ・給付奨学金についてほか

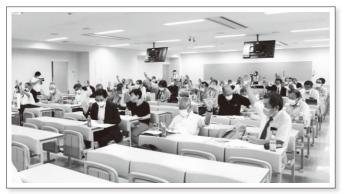


審議を見つめる 理事

- <2021年5月24日(月)> 三役会(リモート会議)
- <2021年5月31日(月)> 三役会(リモート会議)
- <2021年6月7日(月)>
- 三役会(リモート会議)
- <2021年6月11日(金)>

- 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年6月12日(土)>
 - 第3回 理事会(リモート会議)
 - ・2020年度事業報告及び決算の件
 - ・2021年度事業及び収支予算の件
- <2021年6月14日(月)>
 - 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年6月21日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年6月25日(金)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年6月28日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年7月13日(火)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年7月26日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年8月16日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年8月23日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年9月4日(土)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年9月4日(土)>
 - 第4回 理事会(リモート会議)
 - ・2020年度事業報告及び決算報告
 - ・2021年度事業計画及び収支予算
 - ・学校法人評議員選出規則の改訂
 - ・2021年度社員総会の件
 - ・ 友電会60周年記念行事の件
 - ・理事会運営規則の改訂の件
- <2021年9月13日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年9月27日(月)>
- 拡大三役会(リモート会議) <2021年10月2日(土)>
- 第5回 理事会(リアル会議)
 - ・第4回 理事会の継続審議
- <2021年10月2日(土)>
 - 定時計員総会(リアル会議) ・2020年度事業及び決算報告
 - ・2021年度事業及び収支予算
 - ・友電会給付奨学金の件
 - ・友電会60周年記念&一社法人

友電会記念行事



総会の様子

- <2021年10月11日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年10月18日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年11月1日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年11月8日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年11月12日(金)> 三役会(リアル会議)
- <2021年11月13日(土)> 拡大三役会(リアル会議)
- <2021年11月22日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年11月29日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年12月5日(日)> 第6回 理事会(リアル会議)
 - 社員選考規程の改訂案
 - · 役員候補者選考規程案
 - ・友電会60周年記念の 大学への贈呈品案
- <2021年12月13日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2021年12月27日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2022年1月10日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2022年1月17日(月)>
- 拡大三役会(リモート会議)
- <2022年1月24日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2022年1月29日(土)> 三役会(リモート会議)
- <2022年1月29日(土)> 第7回 理事会(リモート会議)
 - ・理事運営規則案
 - · 役員候補者選考規程案
- <2022年2月7日(月)> 拡大三役会(リモート会議)
- <2022年2月28日(月)>

拡大三役会(リモート会議)予定 <2022年3月14日(月)> 拡大三役会(リモート会議)予定 <2022年3月22日(火)>

拡大三役会(リモート会議)予定

<2022年3月27日(日)> 第8回理事会予定

全国支部活動報告

全国支部組織 (13支部) は、長期化した感染 症のため、書面総会に切り替え実施、対面によ り開催した支部があった。



第1回全国支部長会

開催実績は下記のとおり

<2021年5月29日(土)> 東海支部総会

<2021年6月26日(土)> 関東総支部総会・講演会 北関東支部総会・講演会 神奈川支部総会・講演会 千葉支部総会·講演会 茨城支部総会・講演会

<2021年12月11日(土)> 九州支部総会

東京支部総会・講演会

- <2021年12月18日(土)~19日(日)> 奈良支部総会・研修会
- <2022年2月6日(日)> びわこ支部総会・研修会

2022年度計画(案)

<2022年5月14日(土)> 2022年度第1回 理事会

<2022年6月4日(土)> 2022年度第2回 理事会 2022年度定時社員総会

部会の事業報告&計画案

介画·運営部会

友電会60周年及び一社友電会記念式典に向けた開催 準備を始めました。また、母校発展に協力する連携として、母校就職部との若手会員のネットワーク化を進める アンケートを実施しました。是非、卒業生の皆様も、社会 人としての経験を後進に役立てる講師登録にご協力くだ さい。

将来教職の道を目指す学生を集めた教育懇談会を大学の後援を得て開催しました。地域の教育にも電通大OBネットワークを立ちあげたいと考えています。現職の先生方のご支援をお願いします。

組織部会

2020年度の支部活動は新型コロナ感染拡大の影響を受け、対面による支部総会の開催が困難となりましたが、2021年度はワクチン接種率の向上もあり、4支部の対面による支部総会および懇親会を開催することができました。今回の会誌は、直近に開催したびわこ支部総会の様子をご紹介します。

尚、今年度は一社法人友電会の活動のベースである支部の新規拡大を目指し、地域支部以外の同窓会活動をしている卒業研究室やクラブ、同好会等を特別支部として登録できるよう支部設置規程を改定しました。皆様からの申請をお待ちしています。今年度は早速「医療福祉の会」から申請があり、特別支部として第1号の支部設立総会を2022年5月開催予定しています。

事業部会

大学60周年記念品について大学との意見交換をおこない、理事会において審議し、大型モニターと大学正門玄関口に掲揚ポールセットを贈ろうと考えています。6月開催の2022年度定時社員総会に諮り決裁していただきます。

大学就職部との連携事業として、キャリア教育への人材を若手卒業生(友電会員)に募集しました。

22年度事業は、準会員の課外活動をさらに支援することに努めていきたい。また、給付奨学金の枠組みを増やしより充実した給付体制の確保を考えています。

総務・財務・広報部会

コロナ感染症の影響により開催が先送りされていました2022年度定時社員総会が、10月2日、対面会議として開催できました。お陰様で、2022年度予定の事業が実施できました。ワンダーフォーゲル部OB会の上高地キャンプ支援、給付奨学金の2年ぶり復活で、5名の準会員へ支援を致しました。

公約となっていました情報発信に関しては、ホームページ活用、134号、135号の発刊をさせていただきました。 今後も皆様のご支援をお願い致します。

母校の教職課程を学ぶ 学生との教育懇談会

2022年1月28日 (金)、企画・運営部会・事業部会 (主催)・大阪電気通信大学 (後援) は、将来教育現場で働くことを希望する学生を集めた教育懇談会を開催した。

第一部は、現職教員(中学校 技術家庭科)の授業体験をしながら作品製作実習を行い、二部では、教育現場で働くOBや異業種のOBらから職業人としての心がまえや指導する者の弛まぬスキルの研さん、そのための学生生活の過ごし方などを学んだ。

【第一部の様子】

母校寝屋川学舎のY号館 (実習棟) では本学の教職課程 履修者8名と友電会 (企画運営部会、事業部会) の部員が 集まった。

主催者を代表して友電会企画·運営部会長 廣谷 明氏の 挨拶、懇談会を後援する大石利光理事長·学長から歓迎の 挨拶をいただいた。



◆授業の実際

参加者は、3つのグループに分かれ友電会員がリーダー 役となって学生をサポートする形態で授業が進められた。

◆魅力ある授業づくり

主体的な学びを涵養して授業に向かう姿勢を作らせるかを約3時間の授業を通じて実際に体験してもらった。この授業のねらいは、教壇に立つ教師の視点と授業を受ける生徒の視点をもって、授業体験をすることであった。模擬授業者による一斉授業での場面や実習中の生徒一人ひとりへの声かけなどを通じて、貴重な体験から理想とする教師像を思い思いに学びとってくれただろう。

【第二部の様子】

◇Z号館に場所を移動して懇談会を行った。岡本清孝事業部会長が進行役を務め、学生のさまざまな意見や質問を引き出し、友電会からの参加者は自分の経験を紹介しながら懇親の場が深まっていった。









大学生になってから、中高生向けの授業を受けることがなかったので製作体験ではどのように学生に対して動機づけを行うか、 飽きさせないかを学ぶことができました。現在の教員採用試験 について知ることができたらいいなと感じました。 ラジオ製作課題の中で、大学生でもその進 捗度合いに個人差が出てしまう。どのようにし て生徒たちを一斉に完成まで持っていくのかな ど、よく考えてみようと思いました。

授業では一方的に生徒に教えるだけではなく、生徒と共に考える教師になる事が重要であると感じました。

体験できた模擬授業で、説明 や指導方法のつかみが見事に 構成されていて、参考になりま した。



模擬授業の中で最初の"つかみ"などが興味深く、分かりやすく感じました。

模擬授業では、中学の授業を実際受ける生徒側を体験できました。生徒だったら、こういうところでつまずくだろうなと、生徒目線で考えることができてとてもよい経験になりました。

出席者の感想

模擬授業を受けて、生徒の興味をひくために話題の中に時事問題や自らの体験を入れながら話すことで、授業だけではなく生徒自身の主体性へとつながるのだと感じました。

また、話し方として生徒に注意してほしい点や重要な事柄について話す際、声の強弱を使いながら話をされていて、話す技術も様々あることが分かりました。とても貴重な経験となりました。

□まとめ

今回で2回目を迎えた教育懇談会は、高校(工業)、中学校(技術)をテーマに開催した。本学では、理科、数学、情報、工業の教員免許が取得できる。今後も学生たちのニーズを聞き、現職の教員OBを組織して後進の研修をサポー

トしたいと考えている。今回、学生への情報発信および開催に当たって教職課程担当の村木有也先生と大村基将先生にお世話になりました。お礼申し上げます。ありがとうございました。

||部||活||動||報



2021年度支部総会はびわこ支部が締めくくりの総会を開催しました。 当支部は、発足30周年を迎えていますが、大規模の集会を断念しての開催でした。

--社法人友電会 **びわこ支部**

びわこ支部総会及び研修会報告

2022年2月6日(日)、びわこ支部〈澤居比佐夫支部長 (H17) 〉は2021年度の総会・研修会を同日開催しました。

例年になく寒波が襲来した滋賀県、前日からの積雪で彦 根・米原以北はたびたび、電車が止まる状況でした。明けて 当日、快晴となり計画に大きく影響することなく実施できま した。

開催にご協力いただいた皆様をはじめ、講演者の方々に 感謝申し上げます。



支部総会 記念撮影

2021年度審議

本年度総会と研修会を兼ねて実施することができまし た。コロナ感染の防止を考慮して、予め総会のための審議資 料 (2021年度事業計画及び予算案並びに役員案等) を配信 し、賛否確認をしました。

■車中で開催の総会

車内の座席間隔を十分に取りJR近江八幡駅を出発したマ イクロバスは、第1目的地の永源寺森林組合へと向かいま した。今回の研修会は、「SDGsを知ろう」をテーマに現地 研修を含めて行いました。

車中、今年度の事業計画及び予算案の提案、役員改選に 係る提案がされました。一社化された友電会に併せる支部 規程の改正案が審議され、一部変更の提案事項は承認され ました。(承認者数13名)

総会後は、車窓の旅。白い帽子を被った鈴鹿山脈を正面 に見ながら研修テーマ「SDGs」について、支部長が研修会 の趣旨を説明しました。

■永源寺森林組合土場で研修会

土場 (山から切り出された木材を集積し加工する場所) に 到着、研修会講師「東近江市あらゆる場面で木を使う推進 協議会」の川村克己会長様と土田秀美事務局様から日本産 木材の現状について話を伺いました。



土場で講師から説明を受ける

■SDGs現地研修会

例年にない積雪で3年ぶりに琵琶湖の深呼吸(全層循 環)が確認。湖底の低酸素水域の拡大が心配されていまし たが、これで一息ついた琵琶湖。その湖に流入する愛知川。 源流から支流まで広がる東近江市でSDGsに取組む団体 「東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会」から講師 を招き、研修しました。脱炭素に向けた生活へのシフトは 待ったなしの喫緊の課題です。私たちの日常の生活を見直 し、生活様式を見直すきっかけになりました。

■研修会の様子





協議会事務局 土田秀美様講演



志村哲樹組織部会長



協議会会長 川村克己様講演

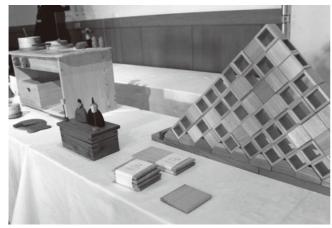


京都大阪支部の参加者

■まとめ

びわこ支部は、滋賀県内の文化圏を巡ることをモットーに30年研修を開催してきました。

今後も、一社法人友電会へびわこ支部の文化を発信していきたいと考えています。来年度こそ、安心の下、盛大な記念総会を開催したいと考えています。





協議会制作展示

■自然と歴史の滋賀

~京阪神へ通勤する多くのOBの皆様へ~

是非、私たちと一緒に友電会を盛り上げていきましょう。 びわこ支部の情報は、友電会のホームページにアクセスして、リンクするびわこ支部のホームページへつながってください。

是非、皆様のご参会をよろしくお願いします。

SDGsとは

持続可能な開発目標と訳されてます。今回、滋賀県内で早くから取り組んでおられる協議会とお話をさせていただき、びわこ支部としての関りができないか考え始めました。

東近江市あらゆる場面で木を使う 推進協議会へのアクセス



母校の研究活動に役立ててほしいと不織布マスクを贈呈

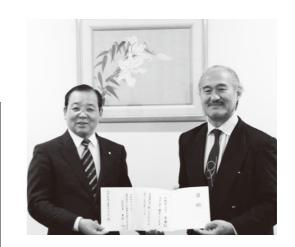
2022年2月18日、一社法人友電会 (廣瀬一夫会長) は、研究活動に勤しむ3・4年次生に不織布マスク10,000枚を寄贈した。

その日、事業部会長の岡本清孝理事が目録を持参して直接大石 利光理事長に手渡した。

大学では、早速寝屋川キャンパスと四條畷キャンパスの140の 研究室に配布していただいた。

この度はマスクをご寄贈いただき、誠にありがとうございました。理学療法学科では多くの学生がコロナ禍で臨床実習ができず、学内で実習しております。感染予防のため、マスクが大変、助かっております。ありがとうございました。

医療健康科学部 理学療法学科 小柳麿毅教授からの感謝の手紙



建学の精神を応援学習成果を讃える友電会賞

2021年なわてんグランプリが開催されました



実学を身につけた有為な人材育成を掲げて60年、大学の 建学の精神に寄与する事業として友電会は、現役学生(準 会員)への支援事業をおこなっています。

この時期、学科ごとに卒業研究発表会が開催されました。 四條畷キャンパスは、恒例の「なわてん」と称される卒業 研究・卒業制作展がオンラインで実施、スペシャルイベント 「なわてんグランプリ」が2月13日(日)、YouTubeチャン ネルで優秀作品の発表がありました。

司会は公式VTuberの初日乃ういと公認VTuber月城紗 夜が務めました。

・総合情報学部 デジタルゲーム学科

・総合情報学部 ゲーム&メディア学科

·総合情報学部 情報学科

· 医療健康科学部



グランプリにノミネートされた作品

点描

第1期4年次生卒業制作展 1、2、3年次生選抜作品展 ポプラ・CFSプロジェクト報告展示

学生支援事業報告

2018年に建築学部が開設以来、持続可能社会実現へ向けた教学を実践されてきた初の合同制作展が、2月2日 (水)~5日(土)、大阪市中央公会堂において開催された。(オンライン卒業制作展同時開催)

点描とは、大学に芽生えた新しい生命-建築学科が「個性」を発揮し、従来の学科に混ざり合い、新たな大学の特色となるという想いだと理解します。真に大学が進めるイノベーションを表現しているようです。



ポプラ並木が目に浮かぶプロジェクト

友電会賞 受賞者一覧

電気電子工学科	東 知希さん
電子機械工学科	吉良優人さん
機械工学科	白 坂 龍 暉 さん
基礎理工学科	佐藤聖真さん
環境科学科	鈴木研汰さん
建築学科	中嶋響さん
建築学科	松本康平さん
情報工学科	德 谷 直 軌 さん
通信工学科	波多野 学さん
医療科学科	宮﨑剛彰さん
理学療法学科	大 平 瑛 登 さん
健康スポーツ科学科	天音聖慈さん
デジタルゲーム学科	音尾こころ さん
ゲーム&メディア学科	藤山愛さん
情報学科	内海雄太さん



論文発表を終えた学科生

通信工学科「卒研発表会」多彩な研究テーマを披露

全国支部と支部長紹介

● 関東総支部 神山清明 (H15)

■ 北関東支部 坂手宏行(J21)

● 茨 城 支 部 塩 田 善 裕 (H12)

● 東京支部 蕭 烱森 (K23)

● 千葉支部 神山清明 (H15)

● 神奈川支部 田谷利明 (F07)

● 東海支部 志村哲樹(F07)

● 大阪支部 平岡 臨(I07)

● びわこ支部 澤居比佐夫 (H17)

● 京都支部 兵藤敏夫 (E06)

● 奈良支部 松井俊樹 (I13)

神戸支部 幸村常一(H16)九州支部 小松周治(F06)





祝で卒業・で入学

学位・修士を授与された皆様へ

ー社法人友電会は、大阪電気通信大学を卒業した同窓 生の会です。会員は、約55,000名に達します。

皆様が就職されて赴かれる先には同窓が集う地域支部が設置されています。是非、地方の支部へアクセスしていただき、母校との絆を結んでいただきますようお願い致します。

5月の暖かな日和に季節が移ったころ、新社会人を歓迎する支部集会をご案内できると思います。

是非、友電会のホームページをご覧になって開催日をお確かめくださいます様にお願いします。

新入学生の皆様へ

新入生の皆さんは、友電会の「準会員」として、学校生活を支援させていただきます。一般社団法人大阪電気通信大学友電会(通称: 友電会または一社友電会)は、事務局を寝屋川キャンパス内(L号館)に設置しています。気軽にお立ち寄りください。



寝屋川学舎にある友電会事務局

友電会が行っている学生支援事業

●給付奨学金制度

学部生から修士課程までの学生が、課外活動等で顕著な実績を残している者に対して、36万円を給付しています。募集は、4月から行っています。学務課から配信の情報をチェック!

●貸与奨学金

後援会と共同出資し運営をしています。詳しいことは 学務部学務課へお問い合わせください。

●短期貸付金制度

緊急時にお金が必要な場合に対応しています。学務部 学務課へお問い合わせください。 お願い

<u>異動届に</u> ご協力ください

ご卒業される皆さまへ

友電会 (同窓会) が皆様と繋がれるメディアは、今、手にされておられます会誌とホームページです。ご自宅を離れて、自立される方や大学に近いアパートを引き払い、転居される方もいらっしゃることでしょう。 向後、卒業生の皆様が仕事に慣れ、余裕ができましたら、是非、後進の学生にその経験をお話していただくことを期待しています。

是非、転居された時には、友電会へご連絡をお願い申し上げます。

ホームページ

http://www.yudenkai.org/ e-mail:info@yudenkai.or.jp

OSTAL	2/2	
トップページ 友電会について	行事予定 会誌 「ゆうでんか	い」 関連リンク集 お問い合わせ・ご連絡 友電会支部一覧
友電会会員専用サイト	お問い合わせ・ごi	連絡 ご意見やご連絡を送信いただく、とが可能です。とよのフォームにご記入いた
友電会動画		望の方は こちら 図 からお願い致します。
^{友電会} 支部総会案内	フリガナ	
* 大阪電気通信大学 高等学校可認会	卒業年・学部	
SECURED BY SECTION	必須、メールアドレス	

各地の絶景を お寄せください

新天地での慣れない生活に落ちつき、近くを 散策されましたらスナップ写真1枚を近況報告 として、友電会事務局にお寄せください。友電会 誌やホームページで紹介させていただきます。

また、素晴らしい景色を発見されました時は、是非、会誌の表紙に使用させてください。皆様からの元気な声をお待ちしています。



寝屋川キャンパスL号館にある一社法人友電会

追悼

2022年(令和4年)2月までに届け出があった方々です

ご遺族様から頂戴いたしました訃報を掲載させていただきますお亡くなりになられた皆様方に こころから哀悼の誠を捧げます

西岡俊彦 H17105 石本時堯 E03081 阿部 勉 H10040 百武 宰 E02145

<お詫びと訂正> 会誌134号記載の間違い

先にご紹介しました故人さまの記載に間違いがありました。 ここにお詫びし、訂正させて頂きます。 沖野正弘(誤)沖野政弘(正)

大学教員

一般社団法人大阪電気通信大学友電会定款

第1章総則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人大阪電気通信大学友電会と称する。 (主たる事務所等の所在地)

第2条 当法人は、主たる事務所を大阪府寝屋川市初町18番8号 大阪電気通信大学内に置く。

(目的)

第3条 当法人は、会員相互の親睦と研修を図るとともに、学校 法人大阪電気通信大学と緊密に連携を保持し、その発展 に協力して、教育、学術及び文化の発展に寄与すること を目的とする。

(事業)

- 第4条 当法人は、前条の目的を達成するため、非営利型の法人として次の事業を行う。
 - (1)会員相互の親睦に関する事業
 - (2)研究発表会、講習会、座談会等の開催に関する事業
 - (3)機関誌等の広報に関する事業
 - (4)学校法人大阪電気通信大学発展に関する事業
 - (5)その他、当法人の目的を達成するために必要な事業...

(公告方法) 第5条 当法人の公告は、電子公告により行う。ただし、事故そ

第5条 当法人の公告は、電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

(機関)

第6条 当法人は、理事会及び監事を置く。

第2章 会員及び社員

(会員)

第7条 当法人の会員は、次のとおりとする。

(1)正会員

学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部を 卒業、又は大学院を修了した者で、卒業時あるいは 修了時までに社員総会の定める額の会費を納めた者

(2)準会員

学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部又 は大学院に在籍している学生で、社員総会の定める 額の会費を納めた者

(3)特別会員

学校法人大阪電気通信大学の専任職員(大阪電気通信大学高等学校の職員を除く。)

(4) 賛助会員

当法人の目的に賛同し、その事業を援助する者で、 理事会の承認を得た個人又は団体

(5)名誉会員

当法人の目的達成に貢献をした者で、理事会の決議 を経て推薦された個人 (社員及び代議員)

第8条 当法人は、おおむね正会員500人の中から1人の割合で 選出される代議員をもって一般社団法人及び一般財団法 人に関する法律(以下「法人法」という。)に定める社員 とする。

(社員の選出)

- 第9条 社員は、当法人の正会員の中から選考し、理事会の承認 をもって選出され、会長が社員総会で報告する。
 - 2 社員の選考方法等、必要な事項は別に定める。

(社員の任期)

- 第10条 社員の任期は、選出後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。ただし、任期満了後においても後任者が選出されるまではその職務を行わなければならない。
 - 2 社員が社員総会決議取消しの訴え(法人法第266条第1項)、解散の訴え(法人法第268条)、責任追及の訴え(法人法第278条)及び役員の解任の訴え(法人法第284条)を提起している場合(法人法第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。)には、前項本文の規定にかかわらず、当該訴訟が終結するまでの間、当該社員はなお法人法上の社員たる地位を有するものとする。ただし、当該社員は、役員の選任及び解任(法人法第63条及び第70条)並びに定款変更(法人法第146条)についての議決権は有しないものとする。
 - 3 任期満了前に退任した社員の補欠として選出された者の 任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。
 - 4 増員により選出された社員の任期は、他の社員の任期の 残存期間と同一とする。

(正会員の権利)

- 第11条 社員でない正会員は、法人法に規定された次に掲げる社 員の権利を、社員と同様に当法人に対して行使すること ができる。
 - (1)法人法第14条第2項に定める権利(定款の閲覧等)
 - (2)法人法第32条第2項に定める権利(社員名簿の閲覧等)
 - (3)法人法第50条第6項に定める権利(社員の代理権証明書面等の閲覧等)
 - (4)法人法第51条第4項及び第52条第5項に定める権利 (議決権行使書面等の閲覧等)
 - (5)法人法第57条第4項に定める権利(社員総会の議事録の閲覧等)
 - (6)法人法第129条第3項に定める権利(計算書類等の閲覧等)
 - (7)法人法第229条第2項に定める権利(清算法人の貸借対照表等の閲覧等)
 - (8)法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項に定める権利(合併契約等の閲覧等)

(会費の支払義務)

第12条 正会員(社員を含む。)及び準会員は、社員総会の定める 額の会費を支払わなければならない。

(退会)

- 第13条 会員は、次に掲げる事由によって退会する。
 - (1)会員本人の退会の申し出
 - (2)死亡
 - (3)除名
 - (4)失踪宣告を受けたとき
 - (5)成年被後見人又は被保佐人となったとき
 - 2 会員の除名は、当法人の名誉を毀損し、又は当法人の目的に反する行為をする等正当な事由があるときに限り、社員総会の決議によってすることができる。この場合は、当該会員に対し、当該社員総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、社員総会において弁明する機会を与えるものとする。
 - 3 第1項の規定により会員が退会する場合でも、当該会員が既に支払った会費の返還は行わないものとする。

(退社)

- 第14条 社員は、次に掲げる事由によって退社する。
 - (1)社員本人の退社の申し出
 - (2)死亡
 - (3)総社員の同意
 - (4)除名
 - (5)失踪宣告を受けたとき
 - (6)成年被後見人又は被保佐人となったとき
 - 2 社員の除名は、当法人の名誉を毀損し、又は当法人の目的に反する行為をする等正当な事由があるときに限り、社員総会の決議によってすることができる。この場合は、当該社員に対し、当該社員総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、社員総会において弁明する機会を与えるものとする。
 - 3 第1項の規定により社員が退社する場合でも、当該社員が既に支払った会費及び経費の返還は行わないものとする。

(会員名簿)

- 第15条 当法人は、会員の氏名及び住所を記載した会員名簿を作成し、当法人の主たる事務所に備え置くものとする。
 - 2 当法人の会員に対する通知又は催告は、会員名簿に記載した住所、又は会員が当法人に通知した居所にあてて行うものとする。
 - 3 会員名簿の管理は、個人情報保護法による。

(社員名簿)

- 第16条 当法人は、社員の氏名及び住所を記載した社員名簿を作成し、当法人の主たる事務所に備え置くものとする。
 - 2 当法人の社員に対する通知又は催告は、社員名簿に記載した住所、又は社員が当法人に通知した居所にあてて行うものとする。

第3章 社員総会

(構成)

- 第17条 社員総会は、社員をもって構成する。
 - 2 社員総会における議決権は、社員1名につき1個とする。

(権限)

- 第18条 社員総会は、次の事項について決議する。
 - (1)会費
 - (2)会員及び社員の除名
 - (3)理事及び監事の選任及び解任
 - (4)事業計画及び収支予算
 - (5)事業報告
 - (6)貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び 財産目録
 - (7)定款の変更
 - (8)解散
 - (9)理事会において社員総会に付議した事項
 - (10)前各号に定めるもののほか、社員総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第19条 当法人の社員総会は定時社員総会及び臨時社員総会の2 種とし、定時社員総会は、毎年1回、毎事業年度末日の 翌日から3か月以内に開催し、臨時社員総会は、必要に 応じて開催する。

(招集)

- 第20条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長がこれを招集する。
 - 2 総社員の議決権の10分の1以上の議決権を有する社員は、 会長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由 を示して、社員総会の招集を請求することができる。そ の場合、理事会の決議により会長がこれを招集する。
 - 3 社員総会を招集するには、法令に別段の定めがある場合 を除き、開催日より1週間前までに、社員に対して書面 で招集通知を発しなければならない。

(議長)

第21条 社員総会の議長は、当該社員総会において社員の中から 選出する。

(決議)

- 第22条 社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。
 - 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。
 - (1)会員及び社員の除名
 - (2)理事及び監事の解任
 - (3)定款の変更
 - (4)解散
 - (5)前各号に定めるもののほか、法令で定められた事項

(議決権の代理行使)

第23条 社員は、当法人の社員 1 名を代理人として、議決権を行使することができる。ただし、この場合には、社員総会でとに代理権を証する書面を提出しなければならない。

(決議の省略)

第24条 理事又は社員が社員総会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき、社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

(社員総会議事録)

第25条 社員総会の議事については、法令に定める事項を記載した議事録を作成し、議長、会長及び出席社員2名がこれに署名又は記名押印し、10年間当法人の主たる事務所に備え置くものとする。

第4章 役員等

(役員の設置)

第26条 当法人に、次の役員を置く。

- (1)理事 11名以上21名以内
- (2)監事 2名以上3名以内
- 2 理事のうち1名を会長、3名以内を副会長、1名を事務 局長とする。
- 3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長及 び事務局長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行 理事とする。

(役員の選任)

- 第27条 理事及び監事は、社員総会の決議によって社員から選任する。
 - 2 会長、副会長及び事務局長は、理事会の決議によって理事から選定する。

(理事の職務及び権限)

- 第28条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めると ころにより、職務を執行する。
 - 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、当法人を代表し、その業務を執行する。
 - 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、会長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従いその職務を代行し、会長が欠けたときはその職務を行う。

(監事の職務及び権限)

- 第29条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
 - 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(理事及び監事の任期)

- 第30条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業 年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時 までとする。ただし、再任を妨げない。
 - 2 任期満了前に退任した理事及び監事の補欠として選任さ

- れた者の任期は、前任者の任期の残存期間とする。
- 3 増員により選任された理事の任期は、他の在任理事の任期の残存期間とする。
- 4 理事又は監事は、第26条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(報酬等)

第31条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、その職務執行 に要する費用を支払うことができる。

(責任の一部免除又は限定)

- 第32条 当法人は、理事及び監事の法人法第111条第1項の賠償 責任について、法令に定める要件に該当する場合には、 理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最 低責任限度額を控除して得た額を限度として免除するこ とができる。
 - 2 当法人は、理事(業務執行理事又は当法人の使用人でないものに限る。)又は監事との間で、法人法第111条第1項の賠償責任ついて、法令に定める要件に該当する場合には、賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、その契約に基づく賠償責任の限度額は、金10万円以上で当法人があらかじめ定めた額と法令の定める最低責任限度額とのいずれか高い額とする。

(顧問)

第33条 会長は、当法人に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は会長の諮問に応え、意見を述べることができる。
- 3 顧問には、必要な諸経費を支払うことができる。

第5章 理事会

(構成)

第34条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

2 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、 意見を述べなければならない。

(権限)

第35条 理事会は、次の職務を行う。

- (1)当法人の業務執行の決定
- (2)理事の職務の執行の監督
- (3)会長、副会長及び事務局長の選定及び解職
- (4)前各号に定めるもののほか、法令又はこの定款で定められた事項
- (5)その他、会長が必要と認めた事項

(招集)

第36条 理事会は、会長が招集し、開催日の1週間前までに各理 事及び各監事に対して招集の通知を発するものとする。 ただし、緊急の場合にはこれを短縮することができる。

(招集手続の省略)

第37条 理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、招 集手続を経ずに開催することができる。

(議長)

第38条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

(決議)

第39条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する 理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって 行う。

(決議の省略)

第40条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案について異議を述べたときを除く。)は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第41条 理事又は監事が、理事及び監事の全員に対して理事会に 報告すべき事項を通知したときは、当該事項を理事会へ 報告することを要しない。ただし、法人法第91条第2項 の規定による報告については、この限りではない。

(理事会議事録)

- 第42条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、 議事録を作成する。
 - 2 出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に署名又は 記名押印する。
 - 3 第1項の議事録は理事会の日から10年間主たる事務所に 備え置く。

第6章 資産及び会計

(事業年度)

第43条 当法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの年1期とする。

(事業計画及び収支予算)

- 第44条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度 の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認 を受けなければならない。これを変更する場合も、同様 とする。
 - 2 前項の事業計画及び収支予算は、定時社員総会に提出し、 承認を受けなければならない。

(事業報告及び収支決算)

- 第45条 当法人の事業報告及び収支決算については、毎事業年度 終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた 上で、理事会の承認を受けなければならない。
 - (1)事業報告
 - (2)事業報告の附属明細書
 - (3)貸借対照表
 - (4)損益計算書(正味財産増減計算書)
 - (5)貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の 附属明細書
 - (6)財産目録
 - 2 前項の書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時社員総会に提出し、承認を受けなければならない。
 - 3 第1項の書類及び監査報告書を、定時社員総会の日の2

週間前の日から5年間、主たる事務所に備え置くものとする。

(剰余金)

第46条 当法人は、剰余金の分配を行わない。

第7章 解散及び清算

(解散の事由)

- 第47条 当法人は、次に掲げる事由によって解散するものとする。
 - (1)社員総会の決議
 - (2)社員が欠けたこと
 - (3)合併(合併により当法人が消滅する場合に限る。)
 - (4)破産手続開始の決定
 - (5)法人法第261条第1項又は第268条の規定による解散を命ずる裁判

(残余財産の帰属)

第48条 当法人が清算をする場合において有する残余財産は、学校法人大阪電気通信大学に贈与するものとする。

第8章 委員会及び部会

(委員会の設置等)

- 第49条 当法人の事業を推進するために必要あるときは、理事会は、その決議により、委員会を設置することができる。
 - 2 委員会の委員は、理事会が選任する。
 - 3 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事 会の決議により別に定める。

(部会の設置等)

- 第50条 当法人の事業を推進するために必要あるときは、理事会は、その決議により、部会を設置することができる。
 - 2 部会の部員は、理事会が選任する。
 - 3 部会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第9章 事務局

(設置等)

- 第51条 当法人の事務を処理するため、事務局を設置する。
 - 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
 - 3 前項の職員は、会長が理事会の承認を得て任免する。
 - 4 職員は、有給とする。
 - 5 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第10章 支部

(設置等)

- 第52条 当法人は、理事会の決議により、支部を設置することができる。
 - 2 支部の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

同窓会・友電会は 皆様の入会を歓迎します

お住いの地域の支部活動に是非ご参加ください 新生活に落ちつかれた頃、皆様の歓迎会を計画します 友電会のホームページにてご案内します また、転居先をお知らせいただきますようお願いします E-mail:info@yudenkai.or.jp HP:http://www.yudenkai.org





学園創立80周年記念事業募金へのご支援のお願い

「母校に学びの証(あかし)を残す」

学校法人大阪電気通信大学は2021年10月1日に創立80周年を迎えました。

また大阪電気通信大学は創立60周年を迎え、記念事業として寝屋川キャンパス新棟建築整備工事を進めており、2022年3月に竣工いたします。

学園創立80周年記念事業募金は、2022年9月30日迄に3億円を目標としております。 2019年10月1日より募集を開始いたしましたが、2022年1月31日現在で寄付件数502件、 寄付総額は87,025,050円となりました。卒業生の皆様の深いご理解とご支援に感謝し、 厚く御礼を申し上げます。

寝屋川キャンパスの新棟は、実学を身に付けた有為な人材を育成し、AI・IoT時代の新たな研究・実学教育拠点として、広く社会に貢献いたします。

周年記念事業募金は、一定額※のご寄付をいただきますと個人・法人・団体を問わず、事業終了後に新棟内の寄付者芳名板に刻名させていただきます。(ご希望の方のみ)

学園創立80周年、大学創立60周年という節目に母校に「学びの証(あかし)」として寄付者 芳名板への刻名について、是非ともご検討をお願いいたします。

経済状況が極めて厳しい状況のもとでのお願いで、誠に恐縮ではありますが、未来を担う 大阪電気通信大学の学生のために、募金にご理解とご支援をお願いいたします。

> 学校法人大阪電気通信大学 理事長 大石利光

※募金募集期間中、寄付金総額10万円以上。分割でのご寄付も可。

- ●個人寄付は1□1万円ですが、1□以下のご寄付も有難くお受けいたします。
- ●募金詳細につきましては、本学ホームページをご確認下さい。
- ●募金に関する問い合わせは、記念募金推進室bokin@osakac.ac.jpまでご連絡下さい。



一般社団法人大阪電気通信大学友電会

2022年度 定時社員総会・記念式典・講演

懇親会開催のお知らせ

開催日

令和4年6月4日(土)13:30~19:30 受付 13時より開始

於 オービックホール

大阪市中央区平野町4丁目2-3(淀屋橋下車徒歩10分)

ご案内

ー社法人友電会は、「2022年度定時社員総会」をオービックホールで開催します。

大学創立60周年と同窓会が一社化した記念事業として思い出の御堂筋で盛大に行事を行いたいと考えています。どうぞ、ご学友はもちろん、恩師の皆様にも職員の方々もご参会ください。

学園創立50周年記念に御堂筋パレードに参加。 1992年の10月のことでした。



御堂筋にそびえるホール ~淀屋橋から眺める風景~

開催日程

10:30~12:30 第2回理事会

13:00~13:15 第1回全国支部長会

受付開始

13:30~14:45 定時社員総会

15:00~15:20 記念式典

15:30~16:20 記念講演

16:30~16:50 常懇親会受付

17:00~19:30 懇親会

19:30 閉会・閉場

一般会員の皆様へ

記念式典からのご入場にご協力ください。

また、引き続き懇親会へご参加 いただく場合は、必ず、受付を済ま せてご入場をお願い致します。



《講演者》

医療の最前線で臨床工学技士として活躍 大阪電気通信大学医療福祉工学部4期卒(44期) 日本生命病院 臨床工学室勤務

岡崎浩也 氏

テーマ「医療現場からの報告」

専門分野である呼吸器官治療、感染症患者が運ばれてくる医療現場のホットな話題を聞かせていただけます。



